

青嵐

Vol.19

題字：阿南 惟正 理事長筆



公立大学法人

北九州市立大学 学報

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU INFORMATION SEIRAN

発行日／2010年1月13日 発行元／北九州市立大学広報入試課



▶特集1

北九大の就職支援 1

▶特集2

大学院で学ぶ 授業紹介 3

▶特集3

留学生通信 交換留学生からの報告 4

◆トピックス

- 第4回大学の地域貢献度ランキング
- ソーラーウインド・LED照明を設置
- シンポジウム
「スポーツを通じた北九州地域の活性化」を開催

5

◆ゼミ紹介

- “アジアや九州を飛び回り、5感で稼ぐ”ゼミナール
法学部政策科学科 教授 三宅 博之
- 社会的問題／福祉問題への接近
地域創生学群 准教授 深谷 裕

6

◆おしらせ1

- 【ひびきのキャンパス】
第7回ひびきの大学祭「響主義」を開催！
- 【北方キャンパス】
第63回青嵐祭 華美～誇道の果てに～を開催
- 第4回スポーツフェスタ2009開催！

7

◆おしらせ2

- 国際教育交流センター談話室リニューアルオープン
- 認証評価訪問調査について
- 公立大学協会60周年記念式典・シンポジウム
- 研究成果の発表
- 図書館の日曜開館について

8

◆部活動紹介

- 茶道サークル ○放送研究会
- ◆経営審議会委員からひと言
- 安川 健児氏

9

◆入試広報レポート／会議開催

- 新型インフルエンザ対策について
- 第17回経営審議会
- 教育研究審議会開催状況
- 一般選抜追試日程について

10



北九大の就職支援

「進路ガイダンス」(10月14日～16日)を皮切りに、2011年3月卒業予定の3年生、大学院1年生の就職活動が本格化しています。

本学では、就職活動を支援するために色々な施策を展開しています。

1 進路ガイダンス



10月14日から16日にかけて、北方キャンパスで2011年3月卒業予定者を対象とした、「進路ガイダンス」を開催しました。

ガイダンスは、キャリアセンターの見館准教授から、景気悪化による就職環境の厳しさや就職活動の心得、キャリアセンターの支援策とその活用方法などの説明を受けた後、就職が内定している先輩によるパネルディスカッションなど、これから就職活動を始める学生が必要な知識を得ることが出来る場となっています。

今回は「就職氷河期の再来」とも報道される厳しい状況下でのスタートとなり、参加した学生が先輩の経験談に熱心に耳を傾ける姿からも、例年ない危機感が伝わってきました。

この危機を乗り越えるために、キャリアセンターではこれまで以上の支援を行っていきます。

2 学内合同業界研究会「JOB×HUNTER2011」

12月5日に北方キャンパスにおいて、今年で3回目となる「学内合同業界研究会」を開催しました。

この研究会は学内インターンシップの一環として、参加企業の選定から出展交渉、当日の会場運営まで、全てを学生が行っているもので、今年は『学生が自ら仕事という獲物を狙う』という意味を込めて「JOB×HUNTER」と銘打ち開催しました。

各業界から34社の人事担当者を招いて、直接、業界や職種、企業の情報を聞くことにより、インターネットや就職情報誌では得られない貴重な情報を得る場を提供したほか、学生がしっかりと目的意識を持って研究会に参加できるよう事前に心構え講座「プレJOB×HUNTER」や「メイク講座」を実施し、当日には「マナー講座」や「就職内定者による相談会」を開催するなど、就職活動を行う学生に有意義な企画も学生が考えて実施しました。

参加した学生は、多くの業界・企業の話聴いて、就職活動への意欲を新たにしており、企業の方々からも、本学学生の熱心な態度に好感を持っていただきました。



3 就職内定者による就職相談

キャリアセンターでは、11月から、就職先が内定した4年生がスタッフとして常駐し、3年生からの就職活動に関する相談に応じえています。

つい先日までは就職活動で悩んでいた4年生が、自分の経験を交え、同じ学生の目線から質問に答えたり、アドバイスを送ったりと親身になって相談に応じえています。

今年は民間企業へ就職する学生に加え、公務員、教員に進路を決めた学生もスタッフとして加入し、幅広い分野でのアドバイスが出来るようになりました。



2011年3月卒業予定者の就職活動が本格化

4 その他の就職支援

●低年次からのキャリア・スキル科目の開講

1年生前期から3年生前期まで、職業観の醸成、社会で求められる能力形成のため、正課授業としてキャリア・スキル科目を開講しています。

●セミナーの実施

公務員・教員、エアライン等、各種業界の知識を得るためのセミナーや、エントリーシート、グループディスカッション、面接等、実際の就職活動に必要なスキルを学ぶ実践対策セミナーを実施しています。

●キャリアカウンセラーによる進路相談

カウンセラーの資格を持つ相談員が常駐し、自己分析、企業研究の方法などを含め、学生からの進路に関する相談を受け付けています。

●インターンシップ

社会人としての基礎力やマナーを身につける機会として、企業での就業体験を行う学外インターンシップに加え、キャリアセンター広報誌の作成、オープンキャンパスの企画、運営などのプロジェクトを実践する学内インターンシップを行っています。

●学内企業説明会の実施

「北九大学生を求める」企業を学内に招いて、人事担当者と、より近い距離で、より詳しく企業を知ることができる、単独企業説明会を実施しています。



〈企業での就業体験〉



〈キャリアセンター広報誌「キャリアーナ」〉



〈インターンシップガイダンス〉



〈キャリアセンター〉



〈就職情報収集法セミナー〉

5 2011年卒業生向け就職支援の取り組み

(平成22年1月～3月実施予定)

北方キャンパス			ひびきのキャンパス		
月/日	行事名	内容	月/日	行事名	内容
1/12～	個別企業ガイダンス	学内での個別企業説明会	1/20	女子学生向けセミナー	礼儀、言葉遣い、服装など
1/27～2/9	面接対策セミナー	面接の実践指導など	2/10	公務員模擬試験	公務員模擬試験を実施
2/8～19	グループディスカッションセミナー	グループディスカッションの実践指導など	2/11～12	企業研究講座in TOKYO	他大学の学生とのグループディスカッション、面接対策講義、合同企業セミナー
2/11～12	企業研究講座in TOKYO	他大学の学生とのグループディスカッション、面接対策講座、合同企業セミナー	2月 2日間開催	模擬面接①	集団面接対策を実施
(未定)	就職ガイダンス	企業選びや志望動機などの再確認等	3月 4日間開催	模擬面接②	個人面接対策を実施

大学院で
学んでみませんか!

学生からの紹介

社会システム研究科



〈社会システム総合演習〉

社会システム総合演習は、去年から取り組みが始まった全専攻必修の授業です。この授業が目指すものは、院生の研究をより深化させていくためのより広い、より多角的な視野の獲得。

隔週2コマの授業の中で、様々な分野の先生方による話題提供、そしてそれを踏まえての議論を行います。

日ごろあまり顔を合わせることもない他専攻の人々と一つの話題について意見を交換していく中で、自分だけでは気づきにくい多様な見方を知ることが、今後の研究の助けになるだけでなく、人間としての成長にもつながっていくでしょう。



マネジメント研究科



〈人材マネジメント〉

人材マネジメントは1年次必修授業です。講義では、人事に関するフレームワークを中心に学んでいます。具体的には、人事システム（採用・配置、報酬、能力開発システムなど）やモチベーション論、リーダーシップ論など人材管理に必要な知識を学びます。教員は民間企業の人事に携わっていた方です。企業での経験を交えながら、非常に分かりやすく解説して下さいます。

また、この講義の中では、単に座学だけでなく、最初にいくつかのグループを作り、それぞれのテーマでグループ発表を行ったり、グループ内でディスカッションを行ったりしています。グループのメンバーとは、授業がない日に集まり定期的にミーティングを行っています。

授業の後も教員との懇親会が頻繁に行われ、授業の枠を超えて教員と学生が授業の内容やそれぞれの仕事について熱く議論します。そして、私たち学生は、それぞれの職場に学んだことを持ち帰り、日々の仕事に活かしています。

法学研究科



法学研究科は、法律系と政策科学系の各分野を学ぶための大学院修士課程です。

研究科での授業は、いずれも少人数を対象とする演習形式で行なわれます。法律系では、判例研究を中心とします。それぞれの専攻分野に応じて、院生が判例や学説を調べて報告し、これをもとに議論をして理解を深めるという形式です。法律実務特講は複数の弁護士が担当する科目ですが、まさに現場の状況に触れることができるでしょう。政策系では、理論研究やケース・スタディを中心とします。各専攻分野ごとに院生が各種の文献やデータをもとに院生が報告（プレゼンテーション）を行い、これをもとに議論しつつ理解を深めあるいは理論化を図るという形式です。ケース・スタディでは現地調査も含まれます。

なお、法律系、政策系いずれも、修士論文の作成にあたっては、テーマに関連する複数の教員による指導を受けることができます。入ればわかりますが、教員は優秀で指導も熱心ですから、この法学研究科はお薦めです。

法学研究科長 岡本 博志

国際環境工学研究科



東アジア、中央アジア出身者を含む多彩な受講生

〈環境保全工学〉

かつての著しい水質汚濁への対策や快適生活空間の創造に役立ったのは、種々の水処理技術や廃棄物処理・処分技術でした。現在では、リサイクルや資源化、地球温暖化対策、ハイテク産業等々と、それらの役割は高度化・多様化しつつあります。本講義では、水処理や廃棄物処理・処分に関わる装置・プロセスについて紹介すると共に、個々の技術について、その機能や特徴を理解し、それらを構成している基礎理論について学ぶことを目的としています。

今年度から、国際環境工学研究科を核として、アジアを中心とする新興国・発展途上国の水や資源循環の問題に取り組むリーダーを育てる「戦略的水・資源循環リーダー育成事業」が始まっています。この関係学生も受講し、日本語、英語・・・中国語とまではいかないが、バイリンガルで講義をしています。彼/彼女たちが高度技術や知識を習得すると共に、それらに裏付けられた、自国に合った技術を開発・指導できるようになって欲しいと思います。

国際環境工学研究科 教授 石川 精一

北九州市立大学から海外の協定校に留学している学生の皆さんはどのような生活を送っているのでしょうか。体験してみないとわからない生の情報を現地から送っていただきました。



韓服を着て (左端が坂井さん)

寄宿舎

仁川での留学生活

外国語学部国際関係学科 4年 坂井 舞子

今年から始まった韓国仁川大学校への交換留学。第一期生ということもあり、全てが初めてのなのでドキドキしていましたが、韓国に来て約4カ月、楽しく過ごしています。

今年9月から仁川大学は新キャンパスでの講義が始まりました。大学がまるごと全部引っ越しする機会に立ち会うなんておもしろい時期に留学に来たなと思いました。新キャンパスは松島（ソンド）という近年開発に力を入れている埋め立て地に建設されました。新しい街なので、ソンドにあるほとんどの建物が新築で近未来的な感じがします。まさに今開発中のため学生たちが遊べるような繁華街はソウルの街のようにはまだありませんが、各国の企業や有名大学のキャンパスもソンドに建設されており、これから韓国・アジア経済の中心になるような特区だそうです。

ソンドにある仁川大学校ももちろん新築。キャンパスも寮も食堂も全てが新築です。新学期が始まった頃は、留学生の

私たちだけでなく学生全員が何がどこにあるのかわからず、うろろろしてしまう状況でした。全て新しいのは気分が良いですが、新しいがゆえに問題もしばしば。寮に住み始めたばかりの頃は洗濯機がまだ設置されてない、シャワーのヘッドの付け忘れなど問題も…（笑）。しかし最近はロビーやPC室もでき落ち着いてきました。寮にかぎらずキャンパスの中にコンビニができたり、カフェができていたりなど、学校がどんどん進化していくので生活していておもしろいです。

授業もおもしろく充実しています。韓国留学生とペアを組んで作業したり、韓国語でレジュメを作り発表したりなど、大変ですが力のつく内容だと思います。実際に韓国で生活をしてみて、韓国留学に来て本当によかったなと感じています。来年の交換留学に続くように、私たち第一期生！残りの日々も頑張っていきたいと思います。



(ソンド新キャンパス)

仁川大学校

1979年に仁川工科大学校として設立。1994年に仁川市立仁川大学校となる。学生数は約6,500人。設置学部は人文大学、自然科学大学、工科大学、東北アジア経済通商学部等の8学部。本学では交換留学生のほかに、東北アジア経済通商学部からの学生を受け入れている。

TOPICS

トピックス

第4回大学の地域貢献度ランキング 全国第2位

第4回大学の地域貢献度ランキングで、本学が全国で第2位になりました。

このランキングは、日本経済新聞社産業地域研究所が平成21年9～10月に740の国公立大学・大学院大学に住民向けの事業や地元就職の割合などを調べるアンケートを実施し、有効回答があった469大学について教員数など大学の規模に配慮し集計したものです。

本学は平成18年は第2位、平成19年は第8位、平成20年は第1位と、4年連続上位にランクされています。

今回は、「住民・団体に関する設問項目」で満点を獲得しており、出前講座数や小中高校向け講座数が多いことが評価されています。その他、平成20年度には北九州学術研究都市への連携大学院カーエレクトロニクスコースの設立、日本政策金融公庫との産学連携協定締結などを展開しています。



高校生対象のサマースクールの様子(平成20年8月)

総合順位	大学名	国公立	所在地	総合得点
1	熊本県立大学	公立	熊本市	83
2	北九州市立大学	公立	北九州市	82
3	松本大学	私立	長野県松本市	81
4	九州工業大学	国立	北九州市	80
4	大阪府立大学	公立	堺市	80
6	梅光学院大学	私立	山口県下関市	78
7	室蘭工業大学	国立	北海道室蘭市	77
8	宇都宮大学	国立	宇都宮市	76
9	東北公益文科大学	私立	山形県酒田市	75
10	長岡大学	私立	新潟県長岡市	74

※設問項目・ランキング方法

地域貢献の体制の充実度をみる「大学の組織・制度に関する設問」(5問、17点)、学生の地域内就職やインターンシップ実績をみる「学生に関連する設問」(4問、17点)、産学連携や行政との連携の度合いをみる「企業・団体・行政に関連する設問」(7問、26点)、市民・住民グループへのサービス度をみる「住民・団体に関連する設問」(3問、40点)の合計19問の設問を設定、設問ごとの得点をそれぞれ計算。合計得点(満点100点)で順位付けしたものです。

ひびきのキャンパス内に、「ソーラーウインド・LED照明」を設置



ひびきのキャンパス内に、クリーンな自然エネルギーを活用した環境に優しい「ソーラーウインド・LED照明」を設置しました。

これは、太陽エネルギーと風力エネルギーから電気エネルギーを取り出して蓄電池に充電し、その蓄えた電力で夜間に照明を点灯させるものです。

太陽光と風力の相互補完で自然エネルギーを十分に利用できるほか、LED照明の採用により、消費電力の削減と照明の寿命を延ばすことが可能になりました。

ひびきのキャンパスでは、環境負荷の低減をテーマに、光・風・熱等の自然エネルギーを最大限に利用するとともに、水やエネルギーを無駄なく利用するためのシステムを積極的に取り入れており、周辺の自然や水の循環を復元することを目指したエコロジカルなキャンパス整備を進めています。

今後、自然エネルギーに関するデータを収集するとともに、学生や市民に対し、自然エネルギー利用の教育用素材としても活用する予定です。

シンポジウム「スポーツを通じた北九州地域の活性化」を開催

都市政策研究所では、10月18日(日)にシンポジウム「スポーツを通じた北九州地域の活性化」を開催しました(共催:北九州市、後援:北九州商工会議所など)。

このシンポジウムでは、「スポーツは今後の北九州地域の活性化に重要な要素となる」との基本認識のもと、北九州市をホームタウンに活動し、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)加盟を目指している「ニューウェーブ北九州」を事例として、地域にスポーツチームがあることの多面的な効果や、チームと地域・大学との連携のあり方等を論じました。当日は一般市民など約150名にご来場いただき、その模様は新聞・テレビ等で紹介されました。

基調講演では、J1(Jリーグ1部)学生グループのNavy Wavyの発表で活躍中のアルビレックス新潟の池田弘会長に、スポーツを新潟の活性化に結びつけた実例を御紹介いただきました。次に、本学の学生グループ「NavyWavy」のメンバーが「Jリーグチームと大学の連携に関する研究」報告を行いました。後半のパネルディスカッションでは、ニューウェーブ北九州に関わる市民・経済界・行政・チームを代表する方々にJリーグ理事と本学教員が加わり、ニューウェーブ北九州の存在意義や、プロスポーツを支えるために地域が果たすべきこと等について活発な意見交換を行いました。



池田弘会長の基調講演





インドネシア・スマランでのマングローブ植林活動

ゼミ紹介



“アジアや九州を飛び回り、5感で稼ぐ”ゼミナール

社会的問題／福祉問題への接近

法学部政策科学科 教授 三宅 博之

「インドネシアに地震が起きた」、「バングラデシュにサイクロンが襲来、またまた甚大な被害が出た」といったニュースが飛び込んでくると、即座に、小倉北警察署で手続きを済ませ、プラカード・職のほりや募金箱を持ち小倉駅頭で街頭募金を行います。最初、不慣れで恥ずかしがっていた学生も、一時間ほどすれば、大声で道行く人々に募金を訴えかけています。募金活動を通じて国際協力活動に携わると同時に、結果的に北九州の人々が遠い途上国をどのように思っているのか、そのことを肌で感じるための一つの観察授業というわけです。

私たちのゼミは環境教育と国際協力を中心に学習をしており、特にインドネシア・スマラン市の環境NGO=BINTARIあるいは韓国・プサンの国立海洋大学との合同ワークショップを主軸にしたスタディ・ツアーを企画、他方、日本の公害の原点である水俣にバス一台を借り切って出かけたりしています。特に、環境教育や国際協力を学習するにあたって5感で捉えることの必要性・重要性を現場で認識し、その中で語学や聞き取りなどのコミュニケーション・スキルを身につけていっています。

地球温暖化問題を考え、解決するにあたり途上国を切り離すことはできません。本学は小規模な大学なので、途上国研究者数は少なく、実際、途上国の現場での教育を行っているゼミはほとんどありません。途上国をそのように知ることを通して、最終的には、自らの生活・労働を理解し、その状況を改善していくことを目標にしています。

◆教員プロフィール

三宅 博之(みやけ ひろゆき)



1957年兵庫県生まれ。大阪外国語大学(現大阪大学)外国語学部、東京外国語大学地域研究科、インド・カルカッタ大学歴史学研究科、一橋大学社会学研究科博士後期課程単位取得退学後、1991年本学法学部に着任。大学生の頃からアジア各地の旅を楽しむ。1979年インドでのスキー、2002年のインドネシアでサンゴの海をシュノーケリングをしたことが思い出。

Seminar Introduction

地域創生学群 准教授 深谷 裕

私のゼミに所属している1年生は、ソーシャルワーカーを目指しています。「通常枠:夜間枠=1:1」という構成比で、かなりの大所帯です。ゼミでは学生の生活スタイルに合わせ、2つの方法を用意しています。まず、主に通常枠の学生向けの取り組みを紹介します。

「少年法厳罰化」「赤ちゃんポスト」等々、私たちの周りには様々な社会問題や課題があります。これらの中から毎回1つテーマを選び、少人数のグループで話し合うという取り組みをしています。話し合いのネタとして、各課題に対して賛成派・反対派の立場から、それぞれ2~3人に下調べをしてきてもらい、賛成(反対)の理由等について発表してもらいます。

一方、夜間枠の学生の場合は、社会福祉関連の施設等で働いている人もいるので、自分の経験も踏まえて福祉関連問題・地域課題を選んでもらい、考え、調べ、現場の生の声を届けてもらいます。

私のゼミは、2年次以降になると、相談援助の核となる個別支援や地域支援に力点が置かれることになるので、大枠としての「社会」に目を向ける機会が少なくなります。しかし、ソーシャルワーカーとして働くうえで、社会の在り方を見ることも、とても大切です。

また、ゼミで扱っているテーマの多くは、正解のない「価値」の問題です。テーマを考えていく中で、学生が自分自身の価値観はもちろんのこと、様々な「価値」や「倫理」に気づくことができればと思います。

大学1年生にとっては少し難しいテーマもありますが、「先生、難しい!」と言いながらも、「考えさせられた」「興味深かった」「はじめて知った」というコメントも聞かれます。この調子で、学生には大いに悩み考えてもらうつもりです。

◆教員プロフィール

深谷 裕(ふかや ひろい)



2003年トロント大学大学院修士課程修了。2005年国立精神・神経センター精神保健研究所流動研究員、2009年早稲田大学大学院博士後期課程単位取得退学。2009年4月より本学勤務。精神保健福祉士。

おしらせ1

第7回ひびきの大学祭

「響主義」を開催！

ひびきの
キャンパス

大学祭

第63回青嵐祭

華美～誇道の果てに～を開催！

北方
キャンパス



学生イベント



模擬店等の様子

ひびきのキャンパスにおいて、第7回「ひびきの大学祭」が11月7日（土）と8日（日）の2日間にわたって開催されました。2日間とも天候に恵まれ約10,400人の方にご来場いただき、大盛況となりました。

「ひびきの大学祭」の特徴は、国際環境工学部が位置する北九州学術研究都市全体のイベントである「ひびきの祭」との同時開催であるため、双方の多彩な催し物が同時に楽しめること、また地域に開かれた環境であることから、子どもたちや家族連れの姿が多く見られること等があげられます。

「ひびきの祭」では、クロスワード・ラリー、工作教室、サイエンス体験教室等が開催されました。

一方、「ひびきの大学祭」は、学生のステージイベントに加え、体育館で「RSP」などによる有料バンドライブ、KBCテレビ『ドォーモ』の収録、RKBラジオのスナッピーによる生中継などが行われ、たくさんの模擬店も含め楽しむことができました。

飲食物を販売する模擬店では、さとうきびの搾りかすを利用したエコ容器を使用するとともに、ゴミの分別を徹底するため、会場内の3箇所に「エコステーション」を設け、6種類の分別（燃えるゴミ、燃えないゴミ、カン・ビン、ペットボトル、エコ容器、割り箸）を行い環境に配慮した取り組みを行いました。

また、学内にてオープンキャンパスも同時開催し、入試相談のほか、公開講座やイベントを行いました。

これからも「ひびきの大学祭」を通して、ひびきのキャンパスを大いにPRしていきたいと考えています。



オープンキャンパス

平成21年10月31日（土）～11月3日（火・祝）、北九州市立大学北方キャンパスにて第63回青嵐祭が開催されました。開催期間中、風雨の強い日もありましたが本学学生や一般市民の皆さん、16,547人が来学され、例年以上の盛り上がりとなりました。また、新型インフルエンザ対策として、消毒液の設置やマスクの配布等を実施しました。

今年度の大学祭実行委員会は『華美～誇道の果てに～』というタイトルのもと、ステージ企画として、日頃から地域に貢献している、応援団・チアリーダー部、よさこいサークル灯炎、大道芸愛好会等のサークルが公演したほか、最終日には、本学一の美男美女を競う「行けMen's」や「ミスコン」を実施する等、様々な企画を披露しました。教室企画は、落語研究会の寄席、放送研究会のステレオコンサート等や今年で4回目となる「お化け屋敷～迷宮旅館～」を行い、いずれも大変好評でした。

恒例の講演会は、元マラソンランナーの「松野明美」さんが『～夢を抱いて素敵に生きる～』と題して、オリンピックに向けた並々ならぬ努力から現在の生き方まで話していただきました。芸能人お笑いライブは、今人気の「ジャルジャル」が1,500人を超える来場者を楽しませてくれました。

今回は、新しい企画から恒例の企画、地域交流企画など催し物がとても充実しており、学生としての自主活動や研究活動の成果を十分に発揮し、地域社会に貢献することができました。



ステージイベントの様子

第4回スポーツフェスタ2009開催！

今年度も10月17日（土）～25日（日）の期間に第4回スポーツフェスタ2009が行われました。今回で4回目を迎えるということで、バレーボール、ドッジボール、ソフトボール、体育祭の4種目に加えて、3on3バスケ、女性限定ソフトバレーボールを新設し、計6種目に教員・留学生を含み、のべ1,061人の参加がありました。今後もより一層参加者を募り、学生と教員の交流の場を提供していきたいと思っております。



国際教育交流センター談話室リニューアルオープン

10月19日(月)に、国際教育交流センター談話室(北方キャンパス2号館1階)がリニューアルオープンしました。

新しい談話室は、国際環境工学部の学生がカフェをイメージして設計しました。多くの学生が利用しやすいよう、入口は透過性のドアに変わり室内もゆったりと寛ぎやすく温かみのある雰囲気になりました。オープン後は、留学生をはじめ様々な学生が訪れ、勉強をしたり、食事をしたり、話をしたりと自由な時間を過ごしています。

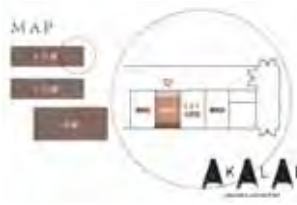
是非一度、来てみませんか。



談話室の様子



(2号館1階) 個性的な窓ガラスが目印です



認証評価訪問調査について

本学は、認証評価(文部科学大臣の認証を受けた評価機関による第三者評価)の一環として、10月21日(水)~23日(金)の3日間、大学評価・学位授与機構による訪問調査を受けました(評価委員5名、機構役職員5名)。

ひびきのキャンパスでは、国公立の大学が立地し、連携する北九州学術研究都市の様子や本学の教育施設の視察が行われました。また、北方キャンパスでは、学長をはじめとする大学の責任者との面談が行われ、教育や学生支援の状況について質疑応答が行われました。

今後、機構の大学機関別認証評価委員会において審議が行われ、平成22年3月には評価結果が確定し、公表されます。

【訪問調査の内容】

10月21日 ひびきの キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の視察(流体力学Ⅱ、環境と科学) ○施設の調査(太陽光パネル、学術情報センター、加工センター、留学生支援センター等)
10月22日 北方 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ○大学関係者(学長や学部長等の責任者)との面談 ○一般教員、職員等との面談 ○授業の視察(物権法、メディア英語ゼミAⅡ) ○施設の調査(情報処理教室、国際教育交流センター、図書館、学生プラザ) ○学生及び卒業(修了)生との面談
10月23日 北方 キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> ○大学関係者(責任者)への訪問調査結果の説明及び意見交換

図書館日曜開館(試行)について

以前より要望のありました図書館の日曜開館を、現在試験的に行っています。(2月まで) 対象は、本学学生・教員のみです。

- 日曜開館日: 1/10、1/24、1/31、2/7、2/14、2/21、2/28
- 開館時間: 9時15分~17時まで

研究成果の発表

本学では、教員の研究活動の成果を講演会やシンポジウムを通して、学生や市民の皆さんに発表しています。

<主な講演会など>

日時	内容
10月16日(金)	日本犯罪学会主催第6回公開シンポジウム 「薬物犯罪の現状と課題~地域社会における多機関連携アプローチの取組み~」
10月23日(金)	基盤教育センター主催講演会 「格差社会の行方」
11月14日(土)	政策情報学会第5回研究大会 「サステイナブル社会の構築と政策情報-東アジア、環境、エコビジネス」
11月14日(土)	SAGA(アジア・アフリカに生きる大型類人猿を支援する集い) 国際シンポジウム 「SAGA12~ボクたちの森人類~」
12月19日(土)	アジア文化社会研究センター主催シンポジウム 「アジアESDの魅力~各都市から学ぶ環境教育・まちづくり~」

公立大学協会60周年記念式典・シンポジウム

公立大学協会の60周年記念事業が、12月1日(火)、東京で開催され、矢田学長が会長として挨拶を行いました。シンポジウムでは、「地域とともにつくる公立大学~保健・医療、福祉とその人材育成を巡って」をテーマに記念講演やパネルディスカッションが行われ、大学関係者をはじめ多くの方が熱心に耳を傾けていました。



<記念式典での矢田学長の式辞>

部活動紹介

茶道サークル

文化系サークル

放送研究会



私たち茶道サークル(茶・Cha・なでしこ)は、学生と社会人を合わせて約20名で活動しています。活動時間は第2・4水曜日の午後6時からです。

お茶の先生をお招きし、ゆったりとした雰囲気の中で本格的な茶道の稽古に励んでいます。

今年発足した新しいサークルですが、表千家へ加入して、来年からは家元の見学や小倉城庭園でのお茶のお手前など、本格的な活動を行っていく予定です。

部員の多くが初心者ですが、一年間でお手前が一人でできるところまで到達できます。

未経験者でも興味があれば気軽に足をお運びください。

先生に作っていただいたおいしい和菓子やおいしいお抹茶と一緒に待ってます♪

私たち放送研究会は、1年生5名、2年生14名の計19名で活動しています。主な活動内容はラジオドラマや映像作品の制作・発表で、九州内の大学団体が主催する作品発表会などにも参加しています。今年度は、5月に行われた熊本学園大学映像大会で最優秀賞、企画部門賞、アナウンス部門賞を受賞しました。また、9月に開催された九州放送連盟作品発表会で、最優秀賞、企画部門賞、アナウンス部門賞、技術部門賞をいただきました。

また、7月18日、19日の本学のオープンキャンパスで、昼休みの時間帯に、高校生に向けて1時間のラジオ番組を生放送しました。

ほかにも、木曜日の昼休みに「ジュピターステーション」という学生向けラジオ番組を隔週で放送したり、他のサークルや学外の団体から依頼を受けて、演奏会や発表会の司会なども行っています。

放送研究会のメンバーはみんな明るく個性的で、締め切り前の制作の現場でも笑いが絶えない楽しいサークルです。

司会等の依頼や新入部員も随時募集中ですので、気になった方はサークル会館1Fの部室まで、ぜひお越しください。



経営審議会委員から一言

● 勝負どころの「旗印」に注目

TVQ九州放送専務 安川 健児



いつの時代でもそうだと思うが、個人も組織も改革に背を向けると時代の渦に沈む。逆に、勝負どころで突破することができれば新たな地平が切り開ける。記者として、さまざまな事象を取材してきた実感である。

そんな目で北九州市立大学を拝見すると、阿南理事長、矢田学長体制のもと改革を着実に進め、教育、研究、地域貢献などの分野で着実に前進している。大学関係者をはじめプロの評価はすこぶる高い。だが、私にはまだ「地味」に映る。少子化とすさまじい国際競争のうねりの前に、「選ばれる大学」であり続けるためには、もうひとつアピールがほしい。研究者、学生の力量向上はもちろん、勝負どころでどんな「旗印」を掲げるのか。ワクワクしながら見守っている。

早めの
対策を!!

新型インフルエンザ対策について

流行して
います。
新型
インフル
エンザ
が

- 今回の新型インフルエンザは
これまでの季節性インフルエンザと症状が類似していますが、感染力は強いといわれています。
- 感染予防
うがい・手洗いが予防の基本です。こまめにうがい・手洗いを行ってください。
また、体力が落ちている場合には、感染しやすいといわれています。
日々の健康管理も十分にしてください。
- インフルエンザが疑われる場合
発熱等のインフルエンザ様症状を呈した場合には、早めに医療機関を受診してください。
- インフルエンザと診断された場合
本学の新型インフルエンザに対する対応について(第7報)では、次のとおりとしています。
1) 自宅で療養する場合は、症状が現れた日の翌日から7日間又は解熱後2日を経過してから登校する。
2) 自宅療養中に行われた授業については出席扱い(診断書必要)とする。
- 感染者と接触した場合
感染者が発病した翌日から7日間は、マスクの着用を徹底し、毎日体温測定を行うなど健康管理に努めてください。
- その他
新型インフルエンザに関する情報については、随時、ホームページや
学内イントラに掲載しますので、最新情報を確認するよう注意してください。



会議開催

第17回経営審議会

平成21年12月8日(火)北九州市立大学本館にて開催されました。

【議案】平成21年度補正予算について

教育研究審議会

第108回 平成21年11月10日(火)

【議案】教員の採用について

第109回 平成21年11月24日(火)

【議案】教員の採用について

第110回 平成21年12月22日(火)

【議案】第1号 教員の採用等について
第2号 特任研究員の選考について

入試情報

一般選抜試験における追試験日程等について

本学では、『平成22年度大学入試選抜に係る新型インフルエンザ対応方針』(平成21年10月7日付文部科学省発表)にのっとり、今年度に限り追試験を実施します。

1. 追試験日

前期日程 平成22年3月5日(金)(集合時間は午前9時00分)

後期日程 平成22年3月19日(金)(集合時間は午前9時00分)

2. 追試験の対象者 (次の何れかに該当する者で申請のあった者)

(1) 試験日前日までに

インフルエンザA型に感染し、かつ試験日現在において療養を要する状態であることが医療機関によって診断された者(インフルエンザA型疑いを含む)

(2) 試験当日の朝に

インフルエンザA型の感染が疑われる症状を呈しており かつ受験者の学校又は家庭内で試験日前7日以内にインフルエンザA型の感染者がいる者

3. 合格発表の日程について 追試験の実施に伴い、入学者選抜要項からは合格発表日程が以下のとおり変更になります。

前期日程

	新	旧
合格発表日	3/9(火)	3/8(月)

後期日程

	新	旧
合格発表日	3/22(月・祝)	3/20(土)

※詳細は一般選抜学生募集要項で確認してください。

ニューウェーブ北九州から



Giravanzへ KITAKYUSHU

子どもに夢と感動を! まちに誇りと活力を!
2010年、ギラヴァンツ北九州 Jリーグ元年。

ニューウェーブ北九州は、
2001年に地元北九州の市民サッカークラブとして誕生しました。
2008年のJFL参入、Jリーグ準加盟、株式会社設立を経て、2009年秋J2に昇格し、
北九州市民の念願であったプロスポーツクラブを誕生させました。
2010年よりチーム名称も「ギラヴァンツ北九州」と変更し、Jリーグに参入します。
これからも「子どもに夢と感動を! まちに誇りと活力を!」をスローガンに
「地域のシンボル」として、地域の皆様が誇りに思い、
皆様から愛される地域に根ざした市民クラブを目指します。
また、「スポーツでもっと幸せな街を!」をテーマにサッカーをはじめ、
あらゆるスポーツ種目を楽しむ「総合型地域スポーツクラブ」が大きな目標です。
そして、Jリーグのクラブとして地域に一体感をもたらし、
地域のイメージアップ、地域の活性化に貢献したいと念じています。
皆様の「ギラヴァンツ北九州」への熱いご声援を心からお願いします。



VISION 私たちには大きな展望 (VISION) があります。

- 3つの **S**
- SPIRITS** 子どもたちに夢と感動を。また、地域の人々に愛され、地域の人々が誇りに思うスポーツクラブでありたい。
 - SYMBOL** 地域が一体となり、一つになって盛り上げられる「地域のシンボル」クラブでありたい。
 - SPORTS** Jリーグが掲げる「スポーツでもっと幸せな街へ」の実現に向けて。みんながスポーツを楽しめる総合型地域スポーツクラブを目指す。

地域貢献理念 「ものづくり」のまち北九州に生まれた「ギラヴァンツ北九州」も「つくる」を使命 (MISSION) に地域貢献します。

「つくる」 「活力をつくる」 北九州地域の人々の一体感や活力を醸成する。

「夢をつくる」 子どもたちの夢を育み、青少年の健全育成を図る。

「健康つくり」 市民の健康増進を図る、サッカー教室などの開催。

「未来を創る」 国際交流と環境問題への積極的取り組み。



本学の学生サポーターグループ「Navy Wavy」
(5ページに関連記事)

URL <http://www.giravanz.jp>

◎出張講義、大学見学のご要望は随時受け付けています。お気軽にお尋ねください。

◎学報に関する皆様からのご意見をお寄せください。

お問い合わせは、大学広報入試課 (Tel.093-964-4196) へお願いします。

